

---

---

柴田杏里お話しと  
ギターコンサート



---

期日：2005年7月6日（水）  
場所：宜野湾市民会館中ホール  
開場：PM6:30 開演：PM7:30  
主催：オージス（沖縄ギター芸術協会）  
<http://nakagusuku.cool.ne.jp/oags/>

## プログラム

### ◆ 第1部

- ① 私の好きな人 ..... スペイン民謡  
・あなたの影になりたい ..... ベネズエラ民謡
- ② 魔笛の主題による変奏曲 ..... F. ソル
- ③ グラン・ホタ ..... F. タルレガ

-- 休憩 (10分) --



### ◆ 第2部

- ④ ラ・クンパルシータ ..... F. ロドリゲス  
・花祭り ..... P. ザリディバー
- ⑤ 4つのエチュード  
1 - D. アグアド, 2 - F. ソル, 3 - M. カルカツシ, 4 - N. コスト
- ⑥ フニクリ・フニクラ ..... デンツア
- ⑦ 星条旗よ永遠なれ ..... J.P. スーザ
- ⑧ 主よ人の望みの喜びを ..... J.S. バッハ
- ・リュート組曲第4番よりプレリュード ..... J.S. バッハ



## 柴田杏里プロフィール

- 1951年 東京生まれて、音楽家の両親のもと、3才よりヴァイオリン・ピアノを始める。17才より、クラシックギターの奥田紘正氏に師事。
- 1970年 スペインへ留学。
- 1971年 マドリッド王立音楽院へ入学。ギターを主任教授ホルヘ・アリサ氏に師事。
- 1976年 同ギター科を首席で卒業。卒業試験の審査員であったナルシソ・イエベス氏のアドバイスにより同氏に師事。  
第4回マヌエル・バラウギターコンクール第1位。同時にバレンシアフィルハーモニー賞を受賞。
- 1977年 マドリッド・ギター協会主催でマドリッド・アテネオホールにてデビュー。同ホールはA.セゴビアのマドリッドデビューのホールであり、スペイン国内の権威は非常に高い。
- 1978年 第12回タルレガ国際ギターコンクールに日本人として初めて第1位。スペイン国内にて本格的な演奏活動を始める。
- 1981年 帰国。日本での演奏活動を開始。N響メンバーとの共演を始め、フルート、ストリングス、声楽等とのアンサンブルにも力を入れる。
- 1982年 ヤマハ合歓の郷 第1回ホセ・ルイス・コンザレス国際ギターコンクール第1位。
- 1985年 日本国内のクラシック・ギターの普及をすべく少人数のホームコンサートを提唱、年間100回前後の小コンサートを各地で開始。
- 1989年 日米ギター交流協会の招きより、ニューヨーク・カーネギーズ・ウェイル・リサイタルホールにてリサイタルを行い好評を博す。
- 1992年 スペイン小品等CDエル・ラストロを発表。
- 1995年 中南米小品等CDバラ・ス・ノヴィア発表。どちらのCDも選曲のユニークさと新鮮で解かり易い解釈で好評を得ている。
- 1997年 ブラジル・リオデジャネイロのヴィラロボス協会より第6回ヴィラロボス国際ギターコンクールの審査員として招待。同時に同地のヴィラロボス博物館でのリサイタルの成功を認められ1999年の第37回ヴィラロボス・フェスティバルへも招待される。

使用ギターは、GREG SMALLMAN作のギター（同ギターはジョン・ウィリアムス等も使っている）